

e-ビーフNEWS 北の牧場から

October 2014

紅葉が始まった。

十勝帯広は、朝がめっきり寒くなり、先日8℃と10℃以下に。予報でも今後は、朝はひとケタ台とついに突入。十勝の抜ける青空に初冠雪した大雪の稜線がくっきり見えます。これに合わせるかのように紅葉が例年より早くはじまりました。昨今、北海道も9月残暑に紅葉もハッキリしない色合いでしたが、今年はバッチリ、10年の一度でないかと言われるほど、目が覚めるような黄色・深紅の色彩豊かな紅葉になりました。

先日、その大雪山系の赤岳(2,078m)を友人と登頂してきました。この日から入山マイカー規制で途中からシャトルバスで向かい、多くの人が、大雪山の紅葉を目指し登山開始。山腹や中腹の花畑は、まさに紅葉真っ盛り。低木の高山植物には、赤や黒い実を付け、これを登山者の間を縫って、シマリスやホシガラスが越冬用の食べ物確保に行きかいます。山頂の最後の登りを見てぎゃふん。霧で覆われ、晴れ間から真白に雪で覆われた山頂が出てきました。断念したい気持ちを、友人に諭されながらヒイヒイと頂上に立った時は、爽快でしたが…山道を滑りながら無事下山することができました。御嶽山の悲劇、身を引き締められる思いですね。合掌。

十勝平野は、紅葉に合わせるように、トラクターやコンバインが、イモ豆かぼちゃなどの収穫で大忙し。今まで1時間に一台も通らない農道は、収穫物を満載したトラックが行きかいます。10月いっぱいまで続く、十勝のラッシュアワーです。



NEWSばか読み

- 列島襲う長雨と日照不足で野菜減収高値 8/23: 気象に翻弄されます
- 生乳需給バランス崩壊の恐れ 8/23: 酪農自体が崩壊の恐れ
- 牛肉サミット2014大津で開催。十勝めむろうし3位に入賞 8/25: おめでとう
- キョコマン生鮮野菜販売強化、トマト一貫生産に進出 8/26: 企業農業の進化
- 春雪さぶる 冷凍ケーキ・ソース加工事業を拡大 8/26: 国内加工がんばるね
- 農林水産省2015年度予算要求14%増2兆6千億円 8/26: 効果を期待
- ロシア禁輸政策 EU食品相場下落 8/27: サーモン・チーズ下がるの
- 中国へ外国食品メーカーが進出 8/28: 食品の安全安心は海外から
- 住友化学 コメの生産流通に参入 9/2: 食糧企業化の方向
- 帯広中心部ヨーカ堂跡地やっと売却 9/2: 市中心活性化に繋がるか

- 和牛子牛相場 12ヶ月高値更新 9/3: 枝肉相場に反映は無理
- 東京 テング熱拡大 9/5: 地球温暖化の影響
- 国の借金1,100兆円超え 9/7: ゆるむ財政 後生の汚点
- 神鋼G ミドリムシ量産技術の確立 9/9: ミドリムシステークは如何?
- スタバ コーヒー粕の飼料化 農家から生乳買入れ 9/9: リサイクル化進む
- 新米 豊作で値下がり。米離れ止まらず 9/10: 2年後減反政策に課題多く
- 米国産牛バラ肉高騰、生産減と中国競合 9/12: 牛丼食えない
- 鶏卵24%高 気温低下で需給引き締まる 9/12: たまごお前もか
- 円安進む。米国金利上昇気配 9/15: 庶民の生活や生産者に影響大
- 総務省 65歳以上3,300万人 4人に一人 9/15: 高齢者が支える社会に
- 安倍政権 地方創生 9/17: 痴呆創生治療が先
- ばんえい出走頭数が減少 生産者高齢化食糧流通へ 9/18: 文化が消える
- スコットランド独立否決 9/20: 北海道独立論は
- 日本公庫調査 加工食品海外原料に不安 9/22: 原料国産化に工夫必要
- 地域生協 増収好調 9/23: ネットスーパーに限界論

東京直近NEWS (9/ Sh-REPORT)

ホルス

9月夏休み明け給食事業の再開からホルス赤身の問合せは増。気温の低下とともに、スライス食材カタロース、ロースの問合せも増加傾向。バラ系の焼き材部位は引合い弱まる。が、同時に輸入パーツのコストアップと数量の不足から加工筋中心に問合せは増加傾向。経産含め数量の不足と先々のコスト増から国産の問合せ強まるとの声もあり。冷凍品は相変わらず、各メーカー在庫確保している模様も現時点では引合い弱く価格競争の予想もあり。輸入品コスト上昇から国産見直しに期待。

経産牛

相場は相変わらず高値継続。8月後半から相場やや緩む傾向あったが直近は相場戻り傾向。値上げ交渉の継続も、販売価格は天井状況。価格天井状態も、輸入も随時コストアップからもう一段の値上げ交渉必要か。但し、加工筋は在庫手当て済みと、国産では絶対数量確保できず困惑。輸入、国産ともに特売商品無く、末端も販売に苦慮。

活動のお知らせ

- 10/17(金) 13:00~とかちプラザ 環境循環型肉牛生産シンポジウム開催 ぜひ参加を。
テーマ「飼料米の利活用と肉牛生産」 昨今話題の飼料米を取り上げています。
基調講演では、(独)農研機構・畜産草地研究所樋口研究員
話題提供では、愛別町(合)Aの一 大村代表、足寄町ひだまりファーム 沼田代表、斎藤研究員(道総研畜産試験場)を予定。
例年通り、パネルディスカッションや帯広畜産大学口田教室の食味試験、意見交換会e-びーふ試食会(帯広東急イン)
翌日の現地検討会は、足寄ひだまりファームを視察予定です
当日、10:00から北海道畜産公社(十勝)にて北海道肉専用種枝肉共励会が開催されます。
日本で唯一の北海道アンガス牛や日本短角種が約30頭出展する予定。
- 9/19(金) カルビーポテト(帯広工場)ポテトピール第4回検討会を行いました。
テスト機でポテトピール脱水処理加工を行い、次回は、規模を拡大し実証実験を行う予定です。生産物で飼養試験も検討中。

左先生の畜産学研究NEWS

1. 8.30-31. 第3回北海道畜産草地学会大会(帯広畜産大学)

北海道畜産草地学会の大会が先月帯広で開催されました。一般講演(ポスター討論を含む43題)とシンポジウムおよび乳牛の繁殖と飼料用トウモロコシに関する技術のワークショップで構成されています。シンポジウムでは道産チーズの将来展望。ワークショップはこの学会としては珍しいと思います。通常シンポジウムの中での開催が多く参加者全員が何かデータを持ち寄ることからの命名と思われるが、現実の形式は多様です。今回も国際反芻家畜生殖科学シンポジウムの帯広開催に因んでいます。乳牛繁殖の研究動向や酪農・飼料用トウモロコシの道内普及拡大の技術的課題がテーマです。一般講演のうち肉牛関係の演題は遺伝解析を含めて6題でした。

その内5題が黒毛和種を材料にしています。黒毛和種肥育牛において切除の難しいサイコロ脂の発生は遺伝的形質と思われる、黒毛和種における道産稲わらの嗜好性低下は土砂混入が原因と思われるその活用に課題が示されました。また、グラスサイレージ給与が黒毛和種の育成で市場価格を低下させることはない、とされています。

2. 飼料米(農水省用語では飼料用米;食用米、備蓄米、加工用米と対?)に関する情報。新聞に依れば日本のコメの生産量は世界で10位です。順位

の前後にはブラジルと米国が控えています。TPP協議で日本の農協改革と農産物の関税撤廃を迫るという米国ですが、いわゆるセーフガードという関税を死守する日本と着地点を見いだすのは難しいでしょう。日本のコメ農家はコシヒカリを中心にコメの銘柄強化で果実・牛肉などと共に農産物の高品質化で輸出に活路を見いだそうとする動きが活発です。北海道米の銘柄化も同じです。このような中で環リ協の今年の資源循環型肉牛生産(今年から牛肉生産より肉牛生産に変わりました)シンポジウム(10月17日)のテーマは「飼料米の利活用と肉牛生産」です。配合飼料の工場渡し価格が68円/kg(H26.5)を超えるに至って肉牛農家の生産費高騰は深刻です。国が飼料用米の調査情報を公開したのは3年前ですが、飼料用米の作付面積の推移はH17年からあります。H25年と較べると実に1/484です。政府の新しい農政改革で5年後に減反廃止と飼料用米生産に方針転換しました。飼料米の先進地は本州で山形県と思われるが、飼料用玄米の利用は専ら養豚用飼料です。熊本のJA菊池は乳雄去牛勢肥育にいち早く取り組みました。約8%の玄米を粉砕して混ぜてペレット化した専用飼料で肥育、えこめ牛として乳雄に付加価値を付けた取り組みが新聞で紹介されています。シンポジウムでは農水省からの基調講演の他に道内愛別町の取り組みも紹介されます。

道総研 畜産試験場NEWS

去年の研修会

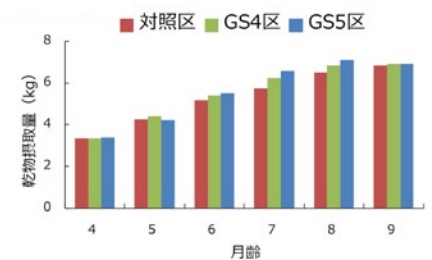
GSの給与開始時期の影響
4ヵ月齢と5ヵ月齢で比較

グラスサイレージ給与による 黒毛和種去勢牛の育成肥育II

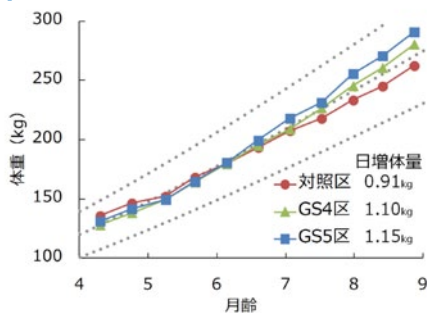


| | 乾草 | GS | 配合 |
|-----------|------|------|------|
| DM (%) | 85.7 | 23.5 | 86.4 |
| CP (%DM) | 8.2 | 13.7 | 22.1 |
| NDF (%DM) | 72.0 | 61.7 | 26.5 |
| TDN (%DM) | 56.7 | 69.3 | 77.0 |
| βカロテン | 0.7 | 94.9 | 13.4 |

乾物摂取量



体重



枝肉成績

| | 対照区 | GS4区 | GS5区 |
|---------------------------|------------|------------|------------|
| 枝肉重量 (kg) | 450 | 458 | 470 |
| ロース芯面積 (cm ²) | 63.4 | 58.7 | 60.0 |
| バラ部厚 (cm) | 7.7 | 7.9 | 7.9 |
| 皮下脂肪厚 (cm) | 2.1 | 2.3 | 1.9 |
| BMS No. | 7.4 | 5.8 | 5.5 |
| BFS No. | 3.0 | 3.0 | 3.0 |

